

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験受験申込書

<新規(基本級・専門級)・追試(学科・口述)>

(上記()内の該当するものを○で囲んで下さい。)

(注1) 受験者本人が内容を確認し、押印(*1の箇所)して下さい。

(注2) 申請内容に従って評価します。申請内容が事実と相違していた場合は、口述試験の取り止め又は不合格とする場合があります。

写真貼付
脱帽、上半身で
最近6ヶ月以内
に撮影したもの
タテ 3.5cm
ヨコ 3.0cm
(全面のり付)

西暦 年 月 日

一般社団法人 日本溶接協会

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ評価委員会 殿

フリガナ								管理番号			
受験者 氏名	(姓)			(名)				印 *1			
生年月日	西暦 年 月 日 生										
フリガナ								所属部課			
勤務先名											
同上 所在地	〒	□	□	□	□	□	□	Tel. /Fax. (Fax)			
連絡先 氏名					所属部課						
希望する試験 日のコードNo. を○で囲んで ください。		コードNo.	試験日					試験会場			
		GK176	2026年2月14日(土)					東京			
		GK177	2026年2月15日(日)					東京			
		GK178	2026年2月28日(土)					福岡			
		GK179	2026年3月7日(土)					大阪			
申請する種別 記号の番号を○で 囲んで下さい。 ()内はロボッ ト型式認証記号 の下7桁を記入 して下さい。〔型 式認証書(附属 書含む)のコピー を添付下さい。〕		基本級	01. PP-FS ()		02. PP-FF ()						
			03. SD-FN ()		04. CD-FN ()						
		専門級	05. PP-HS ()		06. PP-HF ()						
			07. PP-VS ()		08. PP-VF ()						
			09. SS-HA ()		10. CC-HN ()						
			11. HH-HS ()		12. HH-HF ()						
			13. BB-HC ()		14. BB-HN ()						
			ロボットメーカー					ロボット機種			
								電源の種類 (○をつける)	CV電源、パルス電源		
			現有の資格 JIS Z 3841 基本級・専門級		種類記号(適格性証明書のコピーを添付下さい)						
基本級											
専門級											
建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育(右記に日付を記入) 又は、ロボット操作日数100日以上(別紙、経歴の注記5)					特別教育の 受講年月日	西暦 年 月 日					

受験者の職務経歴証明書（新規、追試）

1. 建築鉄骨の溶接従事の確認

受験者氏名	印 *1	生年月日	西暦 年 月 日
申請時以前の建築鉄骨の溶接経験期間 *2		西暦 年 月 ~ 年 月	
上記期間中に経験した主な溶接業務 (記入例: 半自動溶接など)			

2. 建築鉄骨溶接の経歴（申請する機種について記入する）

産業用ロボット安全衛生特別教育 *3 の受講日	西暦 年 月 日
-------------------------	----------

ロボットメーカー		ロボット機種	
期間 (産業用ロボット特別 教育修了後から記入)	種別記号 (継手区分・姿 勢 ・タブの種類)	対象工事名称	柱梁接合部形式*4
			柱断面 *4
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○
			溶接操作日数の合計 *5→

[注記] *1: 受験者本人が内容を確認して押印して下さい。

*2: 1年以上の経験が受験資格になります。

*3: 労働安全衛生法第59条、労働安全衛生規則第36条による。

*4: 柱梁接合部形式、柱断面欄には、代表的な製作対象を○で囲んで下さい。

*5: 新規については100日以上のロボット操作(訓練・登録者の補助)が必要です。操作期間は、産業用ロボット安全衛生特別教育修了後から申請日までで、かつ、申請日前3年に限ります。

なお、複数機種を同時に申請する場合も、機種ごとに100日以上が必要です。

なお、100日未満の場合、建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育の受講が必要です。

上記の記載内容に相違ないことを証明いたします。

会社名:

所属・肩書:

所属長の氏名:

印